

校名：北海道教育大学附属函館中学校

所在地：〒041-0806 函館市美原3-48-6

電話番号：0138-46-2233

記載日：2016年5月20日

記載者：白川 卓

記載者役職：副校長

### 貴校の校風、おおまかな特色について：

北海道教育大学附属函館中学校は、北海道第二師範学校の教育実習機関・教育研究フィールドの役割を担って、昭和22年4月に開校しました。

本校は、校訓「自主 明朗 知・徳」を5つの学校目標に関連させ、日々の教育活動を推進しています。国の教育施策を先導的に推進する拠点校、地域の教育課題を解決するモデル校、および時代の最先端を開拓する教育研究の発進を目指しています。さらに、「文武両道の精神」を堅持しつつ「学びたい、挑戦したい」があふれる学校の環境づくりにも取り組んでいます。



### 貴校の卒業生の活躍状況について：

本校はこれまでに68期の卒業生を送り出し、全道・全国各地の広い分野で活躍する人材を輩出しています。

学校では、卒業時における進路情報を整理し、生徒の適切な進路指導に活用しています。また、本校の特色ある取り組みの一つであるCL学習（Carrier and Life skill 学習）では、日本のトップとして活躍する人と直接会って、その「仕事」のことや「生き方」について学習を深めることを目的としています。これを達成するために、本校を卒業した同窓会等の情報を活用し、このOBから「仕事」や「生き方」の体験談を講話してもらったりもしています。

生徒の卒業後の状況については、同窓会が懇親会やFACEBOOK 活用等により、同窓会活動を活発化させ、情報を収集しています。附属中学校の同窓会は、函館と東京で開かれそれぞれの会場に毎年100人を超える同窓生が集まり、旧交をあたためています。

### 貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

函館附属4校園では同人会組織を中心として、異動後の活躍状況を把握しています。

異動後は、一般の教諭や教頭、校長として、また行政の指導主事、退職後も含めて大学の准教授や教授など、地域教育の振興をリードする中核的な人材として大きく活躍しています。

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

## 時代の最先端を行く

本校では、ICT 関連についての先端的な研究に力を入れています。全校生徒（320名）全員に一人一台のタブレットPCを貸与し、学校教育におけるICT機器の有効活用について、全国でも先駆けとなる先導的な研究に取り組んでいます。

特に機器を持ち帰って家でも使用できるようにして、学校の授業と家での学習を途切れなくつなぎ支える環境を構築するなど、タブレットPCの有効性を様々な視点から検証し、実践を多く積み重ねてきています。



学校にタブレットPCを導入する時の留意点

北海道教育大学附属函館中学校  
副校長 奥崎 敬之  
研究部 大山 裕之

北海道における教育の喫緊の課題である学力向上への取組において、ICT機器を活用する等した「わかる授業」を継続的に行うことが大切です。そこで全国学力・学習状況調査において無回答率の高かった問題について、タブレットPCを活用した授業を公開しています。また、近隣公立学校に本校の研究成果について、積極的な情報提供、提案または各校の研究推進における協力・相談もに行っています。

特に、ICT機器の導入とりわけタブレットPCの導入には、不安を抱いている学校も少なくありません。

そこで、「学校にタブレットPCを導入する時の留意点」として、①機器の選定から導入、②環境構築と設定、③様々な教育活動における活用例や使用におけるルールづくり、④授業活用におけるポイントなどをまとめた資料を作成し、提供しています。

## 21世紀型の学力とアクティブラーニング

次期学習指導要領では、21世紀型と言われる学力の重視やアクティブラーニングの導入が目玉となりそうです。

本校会では、ICTの活用を進めるとともに、各教科を連携させて、こうした実践的な学力の育成を目指したり、反転授業などを取り入れてアクティブラーニング型の授業に積極的に取り組んでいます。

このことについては、国立教育政策研究所による教育課程研究指定校として、教育課程及び指導方法等について調査研究を行い、学校における学習指導の改善充実及び教育課程の基準の改善に資することに取り組んだり、文部科学省「消費者教育推進のための調査研究事業」において、教科横断的な視点を生かした取組を通して実践を積み重ねたりするなど、先導的な実践に積極的に取り組んでいます。



## 文武両道の精神



本校では、「文武両道の精神」を重んじる校風が伝統となっています。「学んだことを日々の実践にきちんと生かしていくことの大切さ」を日々の生活や学校行事等の様々な活動場面で体感し、共感しています。

本校の学校目標の1つ「強い意志を持ち、自主的に行動し、創造性に富む生徒」がこれらの活動に息づいています。

本校は、伝統的に部活動の活躍においても地域の中心的な立場となってきました。

平成27年度は、地域の中体連大会において、優勝旗を陸上部が3本（総合部、男子の部、女子の部）、野球部が2本（函館市、渡島地区）、女子バスケットボール部が1本（函館市）の計6本を持ち帰ることができました。運動部の他にも、芸術・音楽部門等で高い能力や個性を発揮しており、課外活動においても高い評価をいただいています。



## よりよい社会の建設に協力できる生徒



本校の5つある学校教育目標の「秩序を守り、仕事に責任をもち、実践力のある生徒」や「学校や郷土を愛し、よりよい社会の建設に協力できる生徒」の具現化を目指し、CL学習（Carrier and Life skill 学習）も本校の伝統的な特色の1つです。

1. 2年生時から段階的・計画的に学習を進め、3年生の4月に行う修学旅行時に、生徒の夢や憧れである日本の第一線で活躍されている専門家の方々と直接お話を伺うことによって、自分の将来の生き方についてより深く考えたり、将来の希望を確かなものにしていきます。

## 小中一貫『9年間で育む『21世紀型の学力』』

北海道公立学校教員の授業力向上を図るため、附属学校としての機能を高め、近隣学校への出前授業や校内研修の講師を担当するなどとともに、公立学校教員による日常的な授業観察を受け入れています。特に、ICTの活用やアクティブラーニング型の授業について、多くの近隣小中学校と連携して実践をサポートしています。また、附属小との様々な連携を強化し、小中一貫をテーマとした授業力向上セミナーの開催や、「9年間で育む『21世紀型の学力』」をもとにした小中一貫カリキュラムの作成などを進めています。

地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

## 夢の実現、願いがかなう学校

【附属中学校に通う生徒にとって】

子どもたちは、「将来の夢」をえがき、その実現を図るために本校に入学してきます。

保護者にとっても、高い指導力や実績を伝統とした本校への信頼が厚く、本校の様々な教育活動や教育内容に高い期待をっています。

厚生労働省の予測では、全国において最も急速に人口が原則する地域として函館があげられており、年々少子化が進んでいる状況に加えて、地域に他私立中学校も存在する中、定員を上回る入学希望者を得ていることは、このような地域の信頼や期待に裏付けされたものであると捉えることができます。

## 新たな教育が目に見える学校

【近隣公立学校教員にとって】

全国的な教育の動向や最先端の指導技術などについて、実践的研究や取組を実際の子どもの姿やその変容など、目に見える形で情報提供できる機関であり、近隣公立学校への実践化に直結し、効果的に指導改善や授業力の向上に寄与できる機関です。特に首都圏から離れている北海道においては、学校現場に務めている教員にとってとても重要な研修機関とされています。

同様に教育委員会からも実践的な教育研修の場としての依頼も増加してきており、附属学校の教員研修としての機能に対する期待がますます高まっています。

また、近隣学校教員が自主的に組織している各教科の研究サークル等において、リーダー的な立場や研究推進担当とする人材として附属教員が携わっているサークルも多く、地域の教育振興の要となっています。

貴附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

本校は、以下を任務や役割としています。

- 附属学校の使命を果たす学校
  - 【モデル校として】 小中一貫 開発指定校 新たな授業デザイン
  - 【研修機関として】 情報発信 研修支援 教育実習
  - 【大学附属として】 大学研究との連携 先進的・先導的教育活動
- 21世紀に活躍する人間を育成する学校
  - 【個別の知識・技能】 確実な定着 家庭学習等との連続化
  - 【思考力・判断力・表現力等】 適切な評価と改善 教育課程の再編成
  - 【学びに向かう力、人間性】 CL学習の発展 道徳教育の改善
- 子ども、保護者、地域にとって魅力ある学校
  - 【地域貢献】 公立校への研修支援 教育講演会の実施
  - 【教育の質の向上】 先進校や他附属等の積極的な視察 学校研究の推進

本校は、全国・地域において有能な人材を多く輩出しており、その高い指導力や実績に地域の信頼がとても厚いです。また情報化の進んだ現代においても、直接人と人との関わりの中で展開される教育活動において、ペーパーや画像ではなく、直接優れた・高い実践に触れられることは、教育実習のみならず、地域教育における研修機能と教員の実践的な指導力を向上させるため、必要不可欠な場です。

全国的な教育の質の向上を図る上で、地域の附属学校の役割は、今後ますます大きくなるものと思われれます。